

防災・安全ニュース

VOL. 18

危機管理課

2024年10月号

内線：65-1282

新居浜市では、先月交通死亡事故が発生しています。秋は、日没時刻が急激に早まり仕事からの帰宅時間前後となりますので、早めに車のライトを点灯し、歩行者は反射材を利用するなど、事故を起こさない、事故に巻き込まれない心がけをお願いいたします。

では、今月号もよろしくお付き合いください。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・「平成16年災害から20年の記録」ロビー展
- ・歩行者の交通事故防止
- ・今年の猛暑と冬の予想

「平成16年災害から20年の記録」ロビー展

平成16年は、7月の新潟・福島豪雨や福井豪雨に始まり、日本に上陸した台風の数も10個、四国への上陸も6個と過去最多を記録し、10月には最大震度7の新潟中越地震が発生するなど、日本全体で大規模な災害の多い年でした。

新居浜市でも、8月から10月にかけての5つの台風で「避難勧告」を発令し、特に台風15号、18号、21号の時には死者も出るなど、土砂災害と浸水害などで大きな被害を受けました。

それから20年が経過した今、当時の記憶を風化させず未来へ語り継ぎ、将来の災害に備えるため、現在、**防災センターでは10月18日（金）までロビー展を開催しておりますので、是非ご家族、友人や同僚とお誘い合わせてご来場ください。**



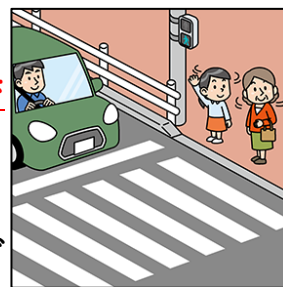
やすらぎの郷（西の土居町）

歩行者の交通事故防止

先月の秋の全国交通安全運動では、重点取り組みの1つに「歩行者の交通事故防止」が挙げられていました。実状としては、令和6年上半期の全国の交通事故死者数は、1,182人であり、状態別死者数では、全年齢、高齢者（65歳以上）ともに「歩行中」が最多の状況で、高齢者では282人、その昼夜別の内訳が昼間112人、夜間170人でした。そして、その170人のうち、横断歩道以外横断中の死者数は87人で、横断歩道横断中は30人でした。

高齢者が片側1車線幅員9mの道路を渡り切るには約8秒を要します。車の速度を50kmとすると、高齢者が道路を渡り始めから、中間地点までに手前の車線の車両は約56m進み、渡り切るまでに奥側の車線の車両は約112m進みます。このことから、一般的に運動能力や認知能力などが低下している高齢者には、特に夜間は道路横断のリスクが非常に大きいことがわかってと思います。

昼夜を問わず、車の運転者は、高齢者のみならず、道端に歩行者を見かけたならば徐行する。歩行者は横断歩道で手を挙げ、車が停車したことを確認してから道路を横断するよう心掛けていただき、交通事故防止に務めていただけると幸いです。



今年の猛暑と冬の予想

今年の夏は、2016年8月から2024年9月の間での新居浜市の日最高気温の1位から10位の中に、今年の日最高気温が6日も入りました。今年の新居浜市の日最高気温は、36.8℃（歴代3位）で4日観測されましたが、実はこれまでの新居浜市の日最高気温の1位は、2020年8月16日で37.9℃でした。ちなみに今年の全国での最高気温は、41.0℃（歴代3位）で7月29日に栃木県佐野市で観測されたそうです。

一方、今年の冬は、ラニーニャ現象が発生する可能性が高いそうですので、冬型の気圧配置が強まる見込みです。ラニーニャ現象が

発生すると、秋は残暑傾向から一転して寒くなる傾向があります。顕著な猛暑を経験した後の冷え込みなので、体感的には夏から一気に冬が到来したように感じられるかも知れません。

【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

新居浜市の日最低気温は、本文中と同じ期間で -4.6°C を2018年2月8日に記録しています。私が経験した最も低い気温は約 -24°C で、2年間で過ごした北海道千歳市で経験しました。2年とも同等の最低気温でしたが、2回目の冬は、約2週間同等の気温が続き、屋内はストーブで暖かく短パン、Tシャツでしたが、外で濡れタオルを振り回す実験をすると棒状に見事に凍ったのを憶えています。 (N.O)